

令和4年度

八戸理容美容専門学校

自己点検・評価報告書

八戸理容美容専門学校

2023/03/31

項目別自己点検表

学 校 名	学校法人八戸アカデミー 八戸理容美容専門学校		
学 校 所 在 地	青森県八戸市小中野3丁目5番1号		
教 育 分 野	※複数分野を設置している場合は、そのすべてに○を付してください。 1 工業 3 医療 5 教育・社会福祉 7 服飾・家政 2 農業 ④ 衛生 6 商業実務 8 文化・教養		
在 学 者 総 数	1 1～40人 2 41～80人 ③ 81～200人	4 201～400人 5 401～600人 6 601～800人	7 801～1,000人 8 1,001人以上
記 入 者 名	長根美佐子	役 職	教員

◆学校の教育理念

本校学生としての矜持と自覚を持ち積極的にして、明朗闊達な校風を作ること相互に協力すると共に近代社会に貢献し得る理容師美容師としての人格と技術の習得に努める。

◆学校経営方針（中期3年計画3年目）

専門的な知識や技術を身につけると共に、これからの時代の変化に対応し、顧客のニーズに応じられる資質の高い職業人を育成する。

◆学校の教育目標

1. 礼儀、作法の徹底を図る
2. 清潔、整頓の保持に努める
3. 親切、勇気 of 精神を養う

◆学校目標（学生像）

自己実現に向け、目標を持って、仲間とともに主体的に取り組む学生の育成

◆本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・学生募集
- ・魅力ある学校づくり（目標と評価を明確にした授業実践）
- ・国家試験全員合格（退学者ゼロを目指す）
- ・人材育成の取組目標（人事考課制度を取り入れ、働きやすい職場づくりに努める）

◆評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
理念・方針・学生等は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・方針・学生像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
教育目標、学生等は、理容科美容科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・理美容学校に入った目的がはっきりしていない学生が増えてきている。
- ・コロナは収束してきたが、新しい生活様式に対応した、オンライン授業の確保ができるよう整備する必要がある。
- ・理美容業界で求められる人材育成のため、実践教育に力をいれている。
- ・理美容師としての心構えの講話とデモンストレーションなどを行い、理美容業界に求められる人材の把握をさせている。
- ・多様化してきている分野でもあるので学生が職業に対しての周知があいまいになっている。
- ・教育目標への意識と方向性がついてきている。
- ・学生への指導が教育目標に、基づいている。

② 今後改善方策

- ・目指す目標を持たせる。
- ・職業の内容等について、現場の声が必要。
- ・教育理念、教育目標
- ・目指す目標を持たせる。
- ・選択授業の内容見直しが必要だと思う。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・ ホームページにシラバスの公開をしている。
- ・ 校内ネットワークを構築している。
- ・ 専門業者により、リモート授業の講習を教職員全員受けている。

② 今後改善方策

- ・ シラバスを継続して公開する。
- ・ ネットワークの理解を深めてもらう。
- ・ コロナ禍で学校行事が縮小されてきたが、これから新しい生活様式の中で目的に応じて、積極的に取り組む必要がある。

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
教育方針に沿った教育課程の編成・実施計画等が策定されているか	4 ③ 2 1
教育方針、学生像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・ 専門教科以外すべて教職員が担当している為、学生に対してメリハリがないように感じる。
- ・ サロン実習を通して社会人のマナーも学び、より実践的な授業を行っている。
- ・ 習熟度に合わせて指導を細やかに行っている。
- ・ 各授業ごとに、小テストなどしている。
- ・ 教職員、学生による授業改善アンケートをおこなっている。
- ・ 教職員の内部勉強会、外部講習会、研修会への参加、資格取得をおこなっている。

② 今後改善方策

- ・ 外部講師の招へいや職業につながるような取り組みが必要。
- ・ 各授業を担当教員でチェックする機会を設ける。
- ・ 単位認定や補講時数など、明確にしていく必要がある。
- ・ 早急に職員の増員をしたほうがよい。
- ・ 学生による授業アンケートを行うだけでなく、授業のやり方、カリキュラム全体に一貫性をもたせ、学習目標を明確にする。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・就職についてガイダンス前に説明会などをして、意識向上を図っている。
- ・年々退学者が減ってきている。
- ・就職しない学生が増えてきている。
- ・マツエクやエステなどの企業の求人が少ないので、学生が自分で探さなければならない状況になっている。
- ・業界で活躍中の卒業生に、ヘアショーへの協力依頼をしている。

② 今後改善方策

- ・退学者が出ないよう、学生の変化を共有したい。
- ・社会人になるための自覚を持たせる。
- ・欠席が多い学生や問題がある学生に対して就職活動をどうしていくか。
- ・学科の国家試験に向けて、学力の低い学生に対してのサポートをどうしていくか。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
国家試験不合格者に対する支援体制はあるか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・各種奨学制度の周知を行っている。
- ・卒業後の離職状況の把握はしている。
- ・年1回の健康診断を行っている。
- ・担任が保護者に成績や出欠状況を報告、学校生活の様子も必要時は電話により報告・相談し対応している。
- ・資格取得（国家試験再受験支援）・再就職相談などを行っている。
- ・年2回保護者面談を行っている。

② 今後改善方策

- ・離職状況をすべて把握しているわけではないので、退職する際は学校に連絡させることを徹底させる。
- ・社会人のニーズに向けた環境を整える。
- ・

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・昨年校内改装を実施した。
- ・年2回防災訓練を実施している。
- ・コロナ禍で、海外研修が中止になったが、昨年から国内研修を再開した。

② 今後改善方策

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・全職員で広報活動に参加する。
- ・近年、高校での学校（進学）説明が早まっている為、SNS やパンフレットなどを活用し、正確な情報を伝えるようにしている。

② 今後改善方策

- ・広報活動がスムーズに行えるように環境を整える。
- ・ガイダンス等にこまめに足を運びきちんとした情報を伝える。
- ・広報活動に対して、専任できる人を確保したほうがよい。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・今年度も入学者が一定数あるため、財務は安定している。
- ・年3回の監査会を実施している。

② 今後改善方策

- ・日々の現金照合、帳簿のデータ化を徹底し、健全な財務管理を継続していく。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 現状

- ・自己評価結果を公開している

② 今後改善方策

- ・学生の名簿等が、色々なフォルダーにあるので、名簿の管理を統一する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
学生のボランティア活動を推奨、支援しているか	4 ③ 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 現状

- ・ 自校で取り組めるボランティア活動が少ない。
- ・ 今年度も、コロナ感染の影響でボランティア活動ができなかった
- ・ 県の労政能力開発課がおこなっている、長期高度人材育成コースを実施しており八戸工科学院より、訓練生の受託を実施している。
- ・ サロンを実施している。

② 今後改善方策

- ・ コロナ感染症が終息後、迅速に社会貢献活動出来るようにする。
- ・ 時代に即したボランティア活動の提案。

